

月刊

300



地図と学ぶ

通巻

617

2024年2月

地図中心

特集 西の端に五島市あり



地図中心 617号 目次【特集 西の端に五島市】

長崎県五島市－自然と歴史が息づく島々	吉田 海人	3
五島市全図	編集室	4
五島の島々	吉田 海人	6
五島市中心部 福江空港 鬼岳周辺	編集室	11
五島市と空海－日本仏教の深いつながり	吉田 海人	12
遣唐使と五島市－時空を超える歴史の旅	吉田 海人	13
長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産：歴史から現代への継承	吉田 海人	14
五島市の教会と潜伏キリシタン史跡	吉田 海人	17
五島の城、石田城＝福江城	吉田 海人	18
五島の火山、鬼岳	吉田 海人	20
五島の佳き灯台	吉田 海人	22
びっしや五島名産品	吉田 海人	24
釣りの聖地・五島	吉田 海人	28
五島のマリンアクティビティ	吉田 海人	29
山本二三美術館 あのアニメの雲は、五島の空の雲	吉田 海人	30
「五島市中心部」の変遷	編集室	31

【連載】

《日本列島 1/20万 鶴の目鷹の目 27》電子地形図 20万「福江」・「富江」・「長崎」	小泉 武栄	34
《地図づくり最前線 017》超解像技術で進化する「赤色立体地図」	片岡 義明	36
《日本百名山が見える鉄道 見えた鉄道 14》最果ての釧網線から羅臼岳、斜里岳	清水 長正	38
《歴史舞台地図追跡 87》江戸・東京をめぐる虚像と実像 (其の拾漆)	谷口 榮	40
《地図を片手に大地を駆ける 81》ナビゲーションの地図読みの実践知を探る	村越 真	42
《ベクター地歴地図孤軍奮闘記 54》結局、なにを作りたいのか？	小島 豊美	44
《地図心中 復活版 30》絵解き－27 取材力と構成力	高橋 美江	46
新刊地形図案内 48 今月新刊の見どころ！・地図倶楽部月報 49	編集後記・次号予告	50
《地図大使親書》九州二大合戦を地図で紐解く	石原 良純	52

月刊 **地図中心**

◆「地図中心」は毎月10日発行です◆

1冊 880円 (税込)

地図倶楽部

◆紙版と電子版のご購読会員

年間購読1年間 **12冊**

プレミアム会員

6,600円 (税・送料込)

プレミアム会員 (シニア) 満65歳以上

5,500円 (税・送料込)

◆電子版のみのご購読会員 (紙版は送付されません)

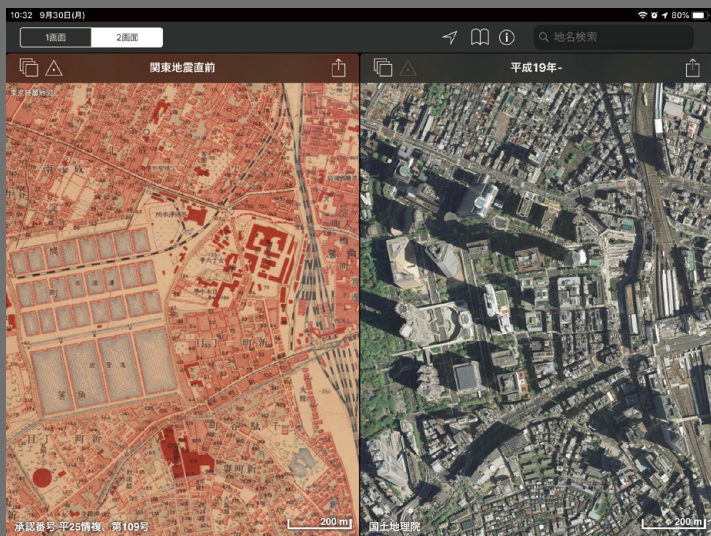
地図倶楽部会員	会費 (税込)	入会資格
一般会員	5500円	なし
一般会員 (シニア)	4400円	満65歳以上
学生会員	2200円	学生または18歳未満の方

地図倶楽部事務局
map-club@jmc.or.jp 03-3485-5417

《表紙》
地図は、地理院地図 (2024年1月取得) を基図として作成
写真は、「大瀬崎灯台」と「江上天主堂」。位置は図中に赤丸 (灯台) と青丸 (教会) で示している。

東京時層地図

TOKYO JISOU MAPS



時層地図

検索



一般財団法人 **日本地図センター**

<https://www.jmc.or.jp/>

東京時層地図は、同じ場所の古地図と現代地図を、切り替えて見比べることができるスマートフォン・タブレット用アプリ。地図は明治期から現代まで、7種類を用意。見たい時代を選んでタップするだけで、瞬時にその時代へタイムスリップ。GPS 情報を利用し、今、自分がいる場所を古地図上に示すことができる。端末を持って移動すると、それに合わせて地図も移動。まち歩きが一層楽しくなるアプリ。

「時層」は「時間の重なり」を意味する造語で、古地図を重ねて見ることで、地層のように、その土地の変遷を捉えることができる。

文明開化期 (1876～1886年)、明治のおわり (1906～1909年)、関東地震直前 (1916～1927年)、昭和戦前期 (1928～1939年)、高度成長前夜 (1948～1960年)、バブル期 (1984～1990年)、現代の7種類の地図のほか、現代の地形図、航空写真、航空写真+地図の計10種類を用意し、最新版では各時代の航空写真などを加え計19種類となっている。

iPad 版では、一画面表示と二画面表示があり、19種類を自由に組み合わせ、並べて表示することができる。ピンチイン・ピンチアウトで拡大縮尺も自由自在。

現在、iPhone 版の「東京時層地図」「横濱時層地図」、iPad 版の「東京時層地図 for iPad」があり、Android 版も用意されている。



長崎県五島市ー自然と歴史が息づく島々

よしだ かいと
吉田 海人

長崎県西部に位置する五島市は、140を超える島々から成る五島列島の西側。福江島・久賀島・奈留島・椀島など、主要な島々がこの地域の魅力を形成しています。透き通る海、豊かな自然、そして深い歴史が五島市の魅力を紡いでいます。

◆自然の宝庫

五島市の最大の魅力は、その自然の美しさです。透明度の高い海はダイビングやシュノーケリングの絶好の場所で、色鮮やかな珊瑚礁や多様な海洋生物が訪れる人々を魅了します。また、島々には美しいビーチが点在し、夏場は海水浴やサーフィンに最適です。島内のハイキングコースは、自然を間近に感じられる絶好の機会を提供します。

また、2022(令和4)年には、日本ジオパーク「五島列島(下五島エリア)」に認定されています。

◆深い歴史と文化

五島市は、キリスト教の歴史が色濃く遺る地域です。江戸時代の潜伏キリシタンの里から、明治期以降に建てられた多くの教会群は、ユネスコ世界文化遺産「長崎と天草地方の

潜伏キリシタン関連遺産」にも2018(平成30)年に登録されています。

また、2011(平成23)年には重要文化的景観「五島市久賀島の文化的景観」に指定され、2015(平成27)年には日本遺産「国境の島 壱岐・対馬・五島 ~古代からの架け橋~」に認定されています。

◆美食の島

特に有名なのは、五島うどんで、その独特の食感と風味は多くの人々を魅了しています。また、五島列島は新鮮な海の幸でも知られています。地元の豊かな海で獲れる魚介類は、寿司や刺身、地元の伝統料理の素材として広く利用され、食の楽しみを提供しています。

◆五島市へのアクセス

五島市の玄関口、福江島へのアクセスは、飛行機で福江空港(五島つばき空港)まで、福岡空港から約40分・長崎空港から約30分。羽田空港から福岡空港経由で約3時間30分、伊丹空港から約2時間30分です。

長崎港から福江港までは、ジェットfoilで約1時間30分です。

◆五島市での体験

地元のガイドと島巡りをする事で、知られざる歴史や文化、自然の美しさを発見できます。また、地元の食材を使った料理教室や、伝統的な工芸品を作るワークショップなど、参加型のアクティビティもお勧めです。

五島市では、その自然の美しさ、豊かな歴史と文化、絶品のグルメなどで、訪れる人々は忘れがたい体験ができます。自然愛好家、歴史ファン、グルメ旅行者など、あらゆるタイプの旅行者にとって、五島市は訪れる価値のある魅力的な島々です。

吉田 海人



1991年生まれ、五島市出身、現在も五島市在住。デジタルクリエイター、(株)Beautrip代表。高校卒業後に一度、島を離れましたが、やはり五島での生活を求めてUターン移住しました。島で様々な活動をしながら、楽しく生活しています。



五島市の山と海と空



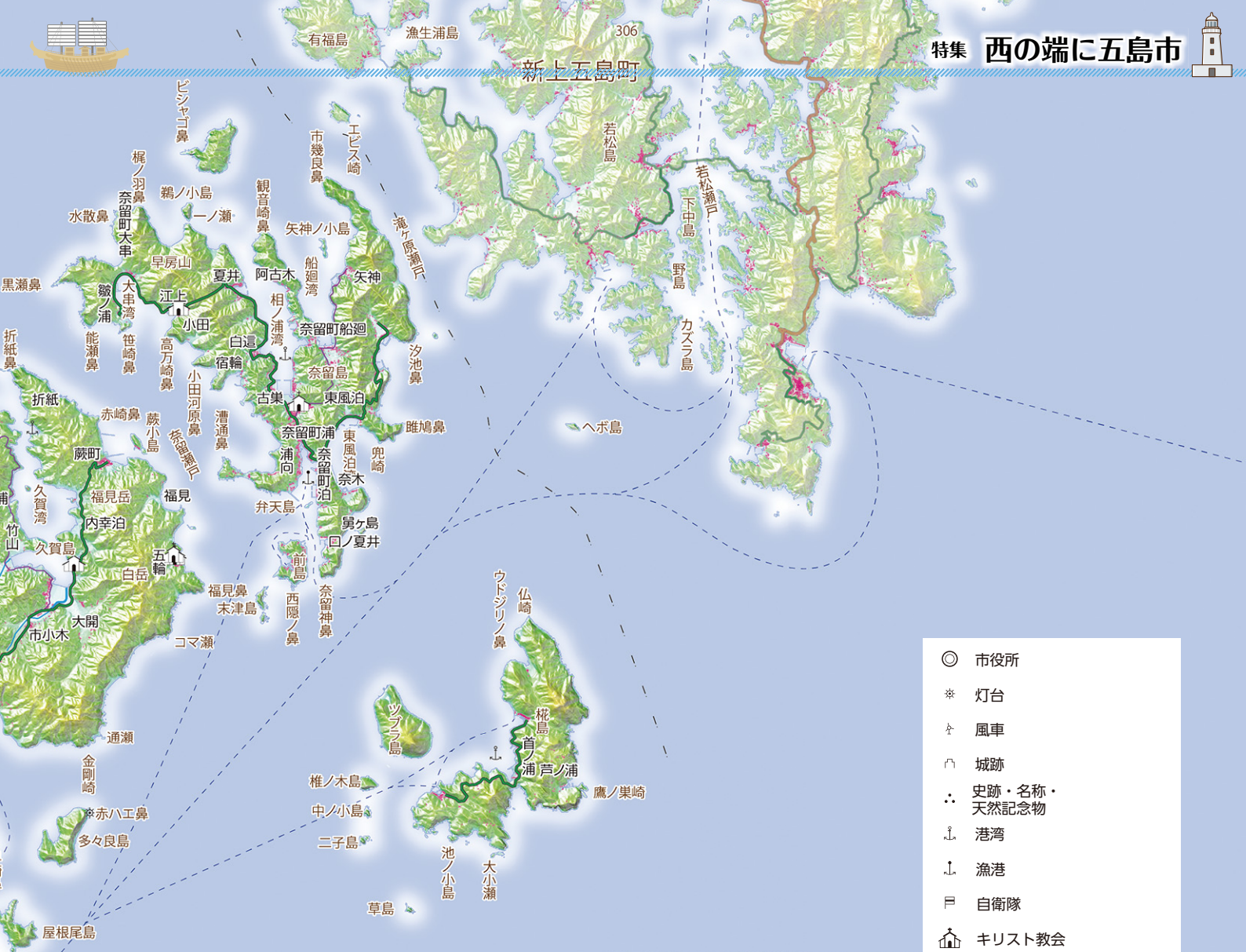
楠原教会

本稿は五島市を紹介する資料・ウェブサイト等を参考(一部引用)として執筆・編集しました。この場を借りて御礼申し上げます。
《主な参考サイト》五島市、内閣府、文化庁、気象庁、海上保安庁、Wikipedia



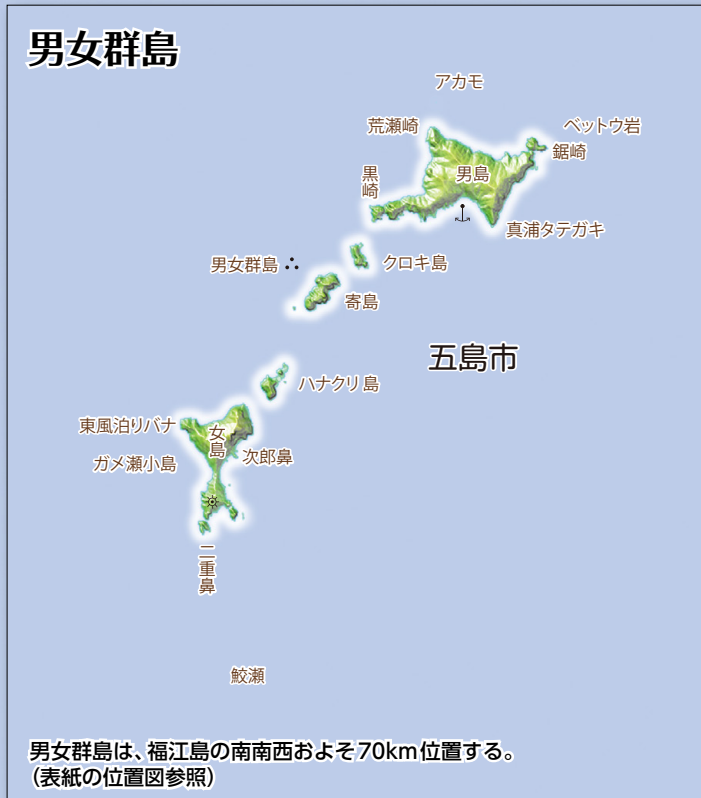
五島市全図 編集室





◎ 市役所
 ※ 灯台
 † 風車
 □ 城跡
 ∴ 史跡・名称・天然記念物
 ⚓ 港湾
 ↓ 漁港
 戸 自衛隊
 教会 キリスト教会

5km



男女群島は、福江島の南南西およそ70km位置する。
(表紙の位置図参照)



本図は、地理院地図(2023年12月取得)を基図として作成したものである。
教会は、五島市公式サイトで紹介されているものについて表示した。

編集後記

さまざまな魅力あふれる五島市。自分は一度だけ福江島を訪れたことがあるのですが、五島市のファンになるには一度で十分でした。

鬼岳の頂上付近の草むらで寝そべって見る星々の輝きや、堂崎教会の面する奥浦湾の湖のように澄んで凪いだ海は目に焼き付いています。井持浦教会には、聖母マリアの奇跡の泉を日本ではじめて模して造られた「ルルド」があります。明治32(1899)年に、五島の信徒が井戸を掘り、岩を持ち寄って洞窟を造り、聖母像は本場ルルドから取り寄せたそうです。

五島を囲む海は豊富な海産物に恵まれ、釣り糸を垂れるとイカが入れ食いとか。五島灘の海水から釜で蒸して作る塩は、粒が大きく旨味があり、刺身にもよく合います。

西の端の五島市へ、旅立ちましょう！ (編集長・小林政能)



空港名の愛称にも「つばき」が



奥浦湾の澄んで凪いだ海



井持浦教会



井持浦教会のルルド



五島の海旨し



塩も五島の海の恵み

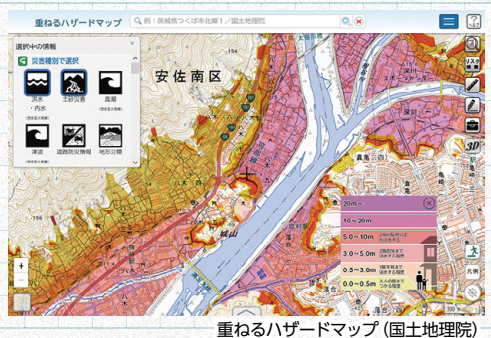
次号予告 2024年3月 通巻618号

毎月10日発行

地図と学ぶ月刊

地図中心 特集 地理総合から地理探究へ

すべての高校生が地理を学習したことになる2024年。教育現場では「地理総合」はもちろんのこと、「地理探究」の教材研究も白熱しています。「地理総合」で身に付けた資質・能力を「地理探究」ではどのように活用しているのでしょうか。「地理探究」のイマを紹介します！



重ねるハザードマップ (国土地理院)

バックナンバーのご案内

地図中心

検索

「地図倶楽部」へのご入会をお待ちしています! 03-3485-5417(事務局)

地図中心

2024-2 通巻617号

発行 2024年2月10日

発行所 一般財団法人日本地図センター
〒153-8522

東京都目黒区青葉台4-9-6

電話 03-3485-8125

FAX 03-3485-5593

(月刊「地図中心」編集室)

メール chushin@jmc.or.jp

URL <https://www.jmc.or.jp>

©一般財団法人日本地図センター

定価 880円(税込)

印刷所 昭栄印刷株式会社

地図と学ぶ月刊誌



本誌の一部あるいは全部を無断で複写・複製・転載することは、法律で認められた場合を除き、禁じられています。